

【 審議を進めるための視点 】

現状の把握

- ・ 市民側、行政側それぞれの取組の現状はどうなっているのか？

(基本的な考え方)

- ・ なぜ、協働の取組が必要なのか？

課題の明確化

- ・ 問題点や解決すべき点はなにか？

今後の方向性

- ・ 身近な地域の課題を、市民の参加と協働により解決するための仕組みづくりをどうするのか？
- ・ 情報共有、情報発信の視点からどんな取組が必要なのか？

《 審議にあたっての具体例 》

- ・ 協働のルールづくり
- ・ 協働提案事業
- ・ 市民活動支援事業
- ・ 区における市民活動支援拠点のネットワーク化
- ・ 協働の担い手を、シニア世代など今後市民活動の担い手となることが期待される世代に広げていくための方策